

# 令和6年度事業報告書

特定非営利活動法人にじいろクレヨン

## 1、にじいろクレヨンの目指す姿

にじいろクレヨン理念：東日本大震災の被災地を、子どもたちとともに居場所づくりを通して心豊かなまちにします。

### 【ビジョン（実現したい社会）】

(我々が描く未来は) みんなが安心して暮らす（過ごせる）社会（です）

### 【ミッション（私たちの使命）】

(我々は) 繼続的な居場所づくりをします

## 2、事業目的

この法人は、1、「東日本大震災の被災児童支援の継続」2、「子どもを見守るコミュニティ作り」3、「子どもの健全育成に関する講座、ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力」の3つを柱として豊かな地域の新しいカタチ（誰もが自分が自分らしく生きることのできる社会）の実現を目指し、豊かな場の体現、実践をしながら、市民とともに認め合う文化が地域で醸成されることを目的とする。



## 2 事業内容

令和6年4月1日～令和7年3月31日

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### 1、東日本大震災の被災児童支援の継続

子どもたちが地域のつながりが途絶えないよう心掛け、継続的な居場所づくりを実践した。自然体験活動の中で、季節の変化や行事を楽しみながら、多世代が心地よく過ごせる環境整備に努めた。



#### ◆ハッピーマンデープロジェクト、にじいろ農園活動（夕方）

##### 【主な活動】

- ・子どもの見守り活動、自然体験

##### 【事業場所】

- ・2か所（にじいろひろば、にじいろ農園）

##### 【従事者数】

- ・9名

##### 【受益対象者】

- ・主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民
- 【使用助成金・補助金】
- ・ハタチ基金

	昨年度の目標	活動実績	成果・気づき
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やってみたいを大切にする場所、安心していられる場所をつくる。</li> <li>・にじいろスタッフがいなくても地域の大人に「こうやりたい、こうしたい」が言える状態を目指す。</li> <li>・子どもも大人も一緒に遊んだり、一緒に過ごしたり、お互いが顔を知っている状態を目指す。</li> <li>・子どもがいつでも大人に助けを求められる（ポロっと言える、話を聞いてくれる大人がいる）状態を目指す。</li> <li>・子どもたち自身がそういう場所だと実感する。実感できている子が5人。</li> <li>・地域の大人が子どもに自ら声をかける状態を目指す。声をかける大人が5人</li> </ul>	<p>&lt;ハッピーマンデー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者：9名</li> <li>・毎週月曜日 10：30～16：30</li> <li>・子どもたちが子どもたち自身でやりたいことを選び、決め、自らの力で取り組むアート活動（色づくり色遊びや段ボール工作など、またちらし寿司ラーメンづくりなど調理活動を含む）の場を作り、その環境を整える支援をした。</li> </ul>	<p>&lt;ハッピーマンデー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や学校、保育園、幼稚園など日常の中で十分にものづくりに取り組むことが難しい環境においても、本事業の場では子どもたちが好奇心を持ち、自分のやりたいことに夢中になって取り組む姿が見られた。自ら作った作品を誇らしげに持ち帰る様子は、子どもたちにとって大きな自己肯定の体験となっている。</li> <li>・家庭では経験しにくい調理体験（包丁を使う、食材を炒めるなど）にも積極的に取り組み、完成した料理を他者にふるまってその反応を喜ぶ姿も印象的だった。このような経験を通して、子どもたちは「できた」ことの喜びと、人とのつながりの温かさを実感していた。</li> <li>・活動では子どもたちが「やりたいことを自分で選ぶ」プロセスを大切にし、それによって自分の意志が尊重される場が構築された。参加者同士も互いの作品を褒め合い、認め合う姿が見られ、お互いを尊重する風土が自然に育まれていた。</li> <li>・乳幼児の保護者と小学生が名前で呼び合い、顔の見える関係性が築かれたことにより、子どもたちにとっても安心できる居場所として機能していた。異年齢交流や多世代との関係性が生まれることで、地域ぐるみで子どもを育てる土壤が形づくられつつある。</li> </ul>
		<p>&lt;にじいろ農園活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者数：4名</li> </ul>	<p>&lt;にじいろ農園活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがやってみたいを大切にする場所、安心して</li> </ul>

		<p>・毎週月・木・金曜日 15:00～17:00</p> <p>農園やひろばを活用した、子どもにとっても大人にとっても安心して過ごすことのできる居場所、遊び場つくり。子どもたちは鬼ごっこや穴掘り、火起こし、たき火など、思い思いにのびのびと過ごした。子どもの声に耳を傾け、子どもの声を地域へ届け、発信した。</p> <p>地域の人と子どもをつなぎ、関係性を構築していった。制作物を子育て支援拠点の装飾に活用したり、活動のチラシのデザインに活用したりして子どもの社会参加の実践にも取り組んだ。</p>	<p>いられる場所として子どもたちの声に耳を傾けてきた。そういう場所だと理解できている子は実際は3人だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の大人として子どもに自ら声をかけられる状態の大人は3人だった。</li> <li>・子どもも大人もいっしょに遊んだり、一緒に過ごしたり、お互いが顔を知っている状態ができた部分もある。</li> <li>農園にスタッフがいない時でも親子で遊びに来ていて、その場に小学生も遊びに来て一緒に遊ぶ姿もあった。</li> <li>・前年度と比較し、小学生の参加が減していく様子もあった。</li> </ul>
回数	212回	<p>&lt;ハッピーマンデー&gt; 51回</p> <p>&lt;にじいろ農園活動&gt; 178回</p>	
参加人数	子ども：のべ1,400名 大人：のべ400名 ボランティア：のべ40名	<p>&lt;ハッピーマンデー&gt; 子ども：のべ694名 大人：のべ388名 ボランティア：のべ8名</p> <p>&lt;にじいろ農園活動&gt; 子ども：のべ1,469名 大人：のべ646名 ボランティア：のべ31名</p>	

#### ◆移動型プレーパーク

##### 【主な活動】

- ・子どもの見守り活動、自然体験

##### 【事業場所】

- ・2か所（船の見える築山公園、釜小学校校庭）

##### 【従事者数】

- ・2名

##### 【受益対象者】

- ・主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民

##### 【使用助成金・補助金】

- ・石巻市移動型プレーパーク支援事業補助金

	昨年度の目標	活動実績	成果・気づき
--	--------	------	--------

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生を含むボランティアが気軽に来られる場所もしくは、気軽に参加できる場所となることを目指す。</li> <li>・大人（ボランティア含む）が子どもと関わろう（あいさつ含む）とする状態を目指す。20人</li> </ul>	<p>&lt;移動型プレーパーク&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者：2名</li> <li>・土日祝 10:00～12:00</li> <li>・築山公園（5月、6月、9月）</li> <li>・釜小学校（1月、2月、3月）</li> </ul>	<p>&lt;移動型プレーパーク&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・築山公園では参加者が減ってきていた。（まわりに家が建ち、駐車場やトイレがないなどの環境によるもあるかも？）</li> <li>・釜小にすることで子どもだけでも遊びにくることもできたり、4月から小学生になる子が保護者と入学前に遊ぶことができるなどもあり、参加者が増えた。</li> <li>・凧揚げやおおきなシャボン玉など校庭を使って、いつもは出来ないことをのびのびと楽しむ様子がみられた。</li> </ul>
回数		<p>&lt;移動型プレーパーク&gt;</p> <p>6回</p>	
参加人数		<p>&lt;移動型プレーパーク&gt;</p> <p>子ども：47名 大人：38名 ボランティア：3名</p>	

## 2、「子どもを見守るコミュニティ作り」について

釜・大街道地区を中心に、にじいろひろばとにじいろ農園、近隣の復興住宅との連携、多世代、多属性の人々が集まる豊かな場づくりを実践した。年数を重ねることで、活動に参加する地域の子どもや大人が、農園での自分らしい過ごし方を見つけ楽しむ姿が多く見られた。対面でのワークショップや食育の時間も気兼ねなく持つことができるようになったことで、子育て世代同士や多世代の人同時の交流が深まった。



### ◆にじいろ農園カフェ、にじいろ農園（午前）

#### 【主な活動】

- ・子どもの見守り活動、自然体験活動

#### 【事業場所】

- ・にじいろ農園

#### 【受益対象者】

- ・主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民

#### 【従事者数】

- ・3名

#### 【使用助成金・補助金】

- ・石巻市心の復興
- ・みやぎチャレンジプロジェクト

	昨年度の目標	活動実績	成果・気づき
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然とあいさつの生まれる場を目指す。4か所（農園、道路、駐車場、千の杜）</li> <li>・高校生を含むボランティアが気軽に来られる場所もしくは、気軽に参加できる場所となることを目指す。</li> <li>・大人（ボランティア含む）が子どもと関わろう（あいさつ含む）とする状態を目指す。20人</li> </ul>	<p>&lt;にじいろ農園カフェ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者：3名</li> <li>・月1回 11:00～13:00</li> </ul> <p>4月：石巻焼きそば、たき火、コーヒー      5月：燻製、ピザ、コーヒー      6月：パン、絵本、コーヒー      7月：カレーライス、サラダ、絵本、アイスコーヒー      8月：流しうめん、絵本、アイスコーヒー、まっちゃんおにぎり販売      9月：ホットケーキ、スイートポテト、アイスコーヒー      10月：燻製、ピザ、絵本、コーヒー      11月：燻製、たき火、ポップコーン、絵本、コーヒー      12月：クリスマスチキン、リツツパーティー      1月：山口のお雑煮、モッフル、コーヒー      2月：お花を生けよう、コーヒー、絵本、まっちゃんのせんべい汁、おにぎり販売      3月：スマアックキー、たき火ケーキ、コーヒー</p>	<p>&lt;にじいろ農園カフェ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・天気や幼稚園などの行事などで参加にばらつきがあった。</li> <li>・まっちゃんのおにぎり、せんべい汁は好評でなをこさんやわたなべさんからも「美味しかった」とのお話があった。</li> <li>・小学生からも学校から見えるため「なにしてたの?」「燻製食べたい」など要望があった。</li> <li>・お花を生けようや読み聞かせなども行い、参加者から「楽しかった」「またしたい」などの声もあった。</li> </ul>
		<p>&lt;にじいろ農園（午前）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者：3名</li> <li>・週1回 10:30～12:00</li> </ul> <p>・種蒔き、苗植え、水やり作業（4～6月、9月～10月）      ・収穫（6月～10月）      ・水遊び（7月～8月）      ・たき火（10月～3月）      ・土遊び、ままごと遊び（通年）</p>	<p>&lt;にじいろ農園（午前）&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園に行く前の子どもと保護者が地域の方と挨拶を交わしたりすることが多くなってきた。</li> <li>・野菜やお花を「農園で育てたい」と苗や種を持ってきて、育てて収穫を楽しむ様子があった。</li> <li>・長期休みは午前中の活動を楽しみにしている方多かったです。</li> </ul>
回数	66回	<にじいろ農園カフェ> 12回	

		<にじいろ農園（午前）> 71回	
参加人数	子ども：のべ200名 大人：のべ330名 ボランティア：のべ50名	<にじいろ農園カフェ> 子ども：88名 大人：158名 ボランティア：23名	
		<にじいろ農園（午前）> 子ども：307名 大人：256名 ボランティア：32名	

◆にじいろひろば

【主な活動】

- ・子育て支援拠点事業

【事業場所】

- ・にじいろひろば

【受益対象者】

- ・主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民

【従事者数】

- ・4名

【使用助成金・補助金】

- ・石巻市委託事業

- ・石巻市心の復興事業

	昨年度の目標	活動実績	成果・気づき
	<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で安心して子育てができる環境をつくる</li> <li>・妊娠から出産、新生児、幼児期、学童期に生じる問題に切れ目のない支援</li> </ul> <p>【定性目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、他団体と繋がることで利用者が安心して子育てできることを感じられるようになる</li> <li>・育児不安軽減のための講座等を開催</li> <li>・ひろばに来所することでSNSから離れられる時間が増える。ランチタイムや親子でゆっくり過ごせる時間と場所を創出し、利用者同士の対話（悩みを話しやすい空間）、他の親子との関わりが増え育児不安が軽減される。</li> </ul> <p>【定量目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報共有 年10回</li> <li>・石巻市を中心とした情報提</li> </ul>	<p>・従事者：4名 ・火～金曜日 10：00～15：00</p> <p>【育児講座】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石巻市市役所等講師による各種育児講座 年13回</li> <li>・地域歯科医院による出張相談会 年2回</li> </ul> <p>【イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ママのリフレッシュ 年11回</li> <li>・ベビーマッサージ 年6回</li> <li>・出張図書館 年3回</li> <li>・チャイルドヨガ体験会 年2回</li> <li>・座談会、パンをつくろう、ハロウィン、クリスマス会 各年1回</li> <li>・お花を生けよう（心の復興） 年1回</li> </ul>	<p>・昨年の課題だったSNSなどの情報過多による育児不安を抱える人は、ひろばを利用し他の親子との関わりの中で不安を解消する様子があった。</p> <p>・日ごろ疲れている母たちがひろばに来ることで大人との会話や周りの母たちによる見守りがあり、リフレッシュになるとの声があった。</p> <p>・ランチタイムが浸透し、食の悩みを話したり、食べ物をシェアしたり交流がたくさん生まれている。</p> <p>・祖母、父などの利用も多く互いに声をかけて多世代交流も行なわれていた。</p> <p>・イベント参加の親子が多く、平日の自由開館への利用が減ってきてている。</p>

	供 (SNS など含む) 年 12 回		
回数	168 回	195 回	
参加人数	子ども：のべ 1,700 名 大人：のべ 1,300 名 ボランティア：のべ 15 名	子ども：のべ 1,269 名 大人：のべ 1,362 名 ボランティア：のべ 8 名	

### 3. 子どもの健全育成に関する講座

ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力

当団体での実施 4 年目となるポジティブ・ディシプリン®講座（日常的に体罰をなくし、親子がより良い関係を作るための子育てプログラム）において、他団体に周知の機会を設けたことで関心を深めることができた。また、お絵描き教室事業では子どもの権利を軸として、子どもたちの創作活動を継続することができた。



#### ◆お絵描き教室ゴコッカン

##### 【主な活動】

- ・おえかき教室「ゴコッカン」事業

##### 【事業場所】

- ・子ども教室（2ヶ所）
- ・大人教室（3ヶ所）
- ・出張教室
- ・出張ワークショップ

##### 【受益対象者】

- ・主として 0 歳～18 歳未満の児童およびその保護者・近隣住民

##### 【従事者数】

- ・8 名

##### 【使用助成金・補助金】

- ・自主事業

	昨年度の目標	活動実績	成果・気づき
	アート（美術、図工）を楽しむもの、楽しむものであると考える仲間のいる状態 アート（美術、図工）を楽しむもの、楽しむものであると語り合える場がある状態 （子どもたちが）評価を気にしないでのびのび過ごしている、創作活動している、また（大人や社会が）子どもに対して評価しない、比べない、そんな場を作っていると理解している人が子ども 20 人、大人やボランティア 30 人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従事者：8 名</li> <li>・子ども教室（2ヶ所） 土曜日 10：00～12：00 13：00～15：00 日曜日 10：00～12：00</li> <li>・大人教室（3ヶ所） アトリエ教室（月 1 回） 鹿島台教室（月 1 回） 矢本教室（月 1 回）</li> <li>・出張教室 場所 ピノッティオ保育園他 3 か所 32 回</li> <li>・出張ワークショップ フランス オーヴェルシュル オワーズ ラ メゾン デ ワー</li> </ul>	目標としていた アート（美術、図工）を楽しむもの、楽しむものであると考える仲間のいる状態 アート（美術、図工）を楽しむもの、楽しむものであると語り合える場がある状態に近づけることが出来た。 （子どもたちが）評価を気にしないでのびのび過ごしている、創作活動している、また（大人や社会が）子どもに対して評価しない、比べない、そんな場を作っていると理解している人が子ども 20 人、

		ランド／3月	大人やボランティア 30 人⇒達成できた
回数	108 回	108 回	
参加人数	子ども：のべ 400 名 大人：のべ 200 名 ボランティア：のべ 100 名	子ども：のべ 442 名 大人：のべ 204 名 ボランティア：のべ 169 名 生徒数：38 名	

◆講演会活動

【主な活動】

- ・団体事業普及を目的とした講演会活動

【事業場所】

- ・県内 6 カ所
- ・国外 3 カ所

【従事者数】

- ・2 名

【受益対象者】

- ・主として 0 歳～18 歳未満の児童およびその保護者・近隣住民

【使用助成金・補助金】

- ・自主事業

	昨年度の目標	活動報告	成果
	にじいろクレヨンの仲間が増える ・新規賛助会員 個人会員 20 名 ・団体会員 3 団体	・従事者：2 名  日赤看護学校地域看護実習ゲストスピーカー(6 月、9 月、1 月、2 月) エクセレント NPO 活動見学受け入れ(7 月) 石巻専修大学復興ボランティア学ゲストスピーカー(7 月) 宮城県地域指導者養成講座講師(9 月) 石巻西高校 街ライブラリー活動紹介(9 月) ドイツ レンフェン市 無近勝利道場にて 活動報告会(3 月) フランス パリ 在仏日本人会にて 活動報告会(3 月) フランス オーベルシュルオワーズ ラ・メゾンローズデワーランドにて 活動報告会(3 月)	目標数の新規賛助会員を獲得することは出来なかったが、各講演先との信頼関係は深まってきたように感じる。 また、学校関係での講演会活動で若い世代に伝えることができたことは、今後につながる意義があったと思われる。
回数	10 回	11 回	
参加人数	のべ 300 名	のべ 322 名	

## ◆研修会

### 【主な活動】

- ・地域参加型の子どもの権利に関する研修会活動

### 【事業場所】

- ・2カ所（石巻市ささえあいセンター、にじいろひろば）

### 【従事者数】

- ・10名

### 【受益対象者】

- ・主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民

### 【使用助成金・補助金】

- ・ハタチ基金、  
・みやぎチャレンジプロジェクト

	昨年度の目標	活動実績	成果・気づき
	<p><b>【目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域住民参加型の研修会の実施</li><li>・社会課題の理解を深めるきっかけとなる研修会の実施</li></ul> <p><b>【定性目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方が参加しやすい研修会の設定 ⇒子どもの権利を理解する大人・子どもが増えている</li></ul> <p><b>【定量目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子どもの権利に関する研修会の実施（年二回） ⇒参加者の50%が理解している</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・従事者：10名</li></ul> <p>①子どもの権利勉強会 「子どもにとっての遊びとは」をテーマに参加者全員による寸劇（震災後すぐの活動現場の再現）も交え子ども、保護者、支援者、地域の人、先生などそれぞれの立場に立って、さまざまな視点で考える機会を作った。子どもたちにとって、私たちが大切にしたいこと、地域で始められることはどんなことかを話し合った。</p> <p>②子どもの権利勉強会 「みんなの居場所 農園プレパークをアップデートしよう」をテーマに自分たちが作っていきたい居場所とは何なのか、高校生も交えワークショップ形式で話し合った。 ファシリテーター星野諭氏</p> <p>③全12回の全体ミーティングの実施（上記勉強会を含む）</p>	<p>①「子ども」と「遊び」をテーマに、子どもの視点、大人の視点を行き来しながら学びました。0円遊び作りやロールプレイを通じて、子どもたちの自由な遊びを保障する大切さを実感し、支援者としてどう関わるかを考えました。</p> <p>②たき火、BBQ、畑活動、秘密基地づくりなど、高校生も大人も自由な発想でアイデアを出し合い、たくさんの意見が集まりました。特に高校生からの柔軟な提案が新鮮で、子どもたち自身が主体となれる場づくりのヒントがたくさん生まれました。これらの声を形にして、次年度の活動につなげていきます。</p> <p>③各現場のスタッフが集まり、活動の参加者情報を交えながら主体的に考えることで、身近な地域住民へ効果的な会の組立てや広報につながった。また、リフレッシュ会を設けたことで、円滑な事業実施につながった。</p>
回数	2回	12回	
参加人数		子ども：のべ9名 大人：のべ23名	

◆協働・連携事業

【主な活動】

- ・団体事業普及を目的としたネットワークづくり活動

【事業場所】

- ・石巻市役所、他オンライン

【受益対象者】

- ・主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民

【従事者数】

- ・2名

【使用助成金・補助金】

- ・自主事業

	昨年度の目標	活動報告	成果
	・コロナもあけ、積極的に情報交換をして他団体との協働による実質的な活動を模索していきたい。	・従事者：2名  石の会理事会参加 年10回 冒険遊び場せんだいみやぎネットワーク理事会参加 年5回 いしのまき会議理事会、団体交流会参加 年10回 石巻市子ども子育て会議参加 年5回	・学校や町内会から課題や困りごとなど相談されることが増えてきた。これまで以上に地元に根付いてきた実感を得られた。
回数	20回	30回	
参加人数	150名	310名	

◆ポジティブ・ディシプリン®プログラム (以下PD)

【主な活動】

- ・プログラムの実施
- ・託児室の自由開放、子育てを見守る人材の育成と循環

【事業場所】

- ・2か所（石巻市ささえあいセンター、にじいろひろば）

【受益対象者】

- ・主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民

【従事者数】

- ・8名

【使用助成金・補助金】

- ・石巻市心の復興事業

	昨年度の目標	活動実績	成果・気づき
	【目標】 ・(プログラム参加者の) 子育ての不安の軽減(孤立・不安解消) ・(プログラム参加者が) 自分の子ども以外の存在を気に掛ける人材になる	・従事者：8名  ・プログラム参加者実人数 9名  (効果測定結果より) →「ポジティブ・ディシプリン	・「子どもや子育てをあたたかく見守ってもらえる社会」の実現に向け養育者支援プログラムの実施により、罰を用いない子育てへの理解を深め、育児ストレスからの児童虐待のリスク軽減につながり、参

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人が地域の子育て環境について考える機会をつくる</li> </ul> <p><b>【定性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム参加者が自身の子育てを支えてもらった経験から、自身も他の養育者を支える側の人材となり、子育ての支え合いが循環していく</li> </ul> <p><b>【定量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムの実施 年間1回(全9回)、勉強会1回の実施(入門編2時間プログラム、もしくは支援者対象 2.5 時間版プログラム)</li> <li>・プログラム参加者効果測定アンケートを実施し、行動変容があったか測定する。参加者の80%以上が子育てに対する安心感が増す。</li> <li>・プログラム参加者が他事業の活動に参加する(農園やひろば活動など) …5名</li> </ul>	<p>を学んだことで子どもとより強い関係を築くのに役立つ」の項目で全員が「はい」と回答。</p> <p>→「ポジティブ・ディシプリンを学んだことで子どもの考え方を親は子どもに尋ねるべきだとより強く信じるようになった」の項目で全員が「はい」と回答。</p> <p>→「ポジティブ・ディシプリンを学んで子どもに対して身体的な罰を親は加えるべきではないとより強く信じるようになった」の項目で全員が「はい」と回答。</p>	<p>加者には子育てに対する前向きな行動変容がみられた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでのプログラム参加者が託児ボランティアとして協力できる仕組みによって相互保育を経験し地域の子育てを見守る人材の育成、地域交流の継続にもつながった。</li> <li>・参加者交流会を実施し、プログラムを思い出す機会や子育ての近況等について話しやすい場をつくることができた。再会を機に交流を深める様子が見られた。</li> </ul>
回数	1開催(全9回) 交流会1回 勉強会(2時間版または支援者版)1回	1開催(全9回) 交流会1回	
参加人数	大人:のべ100名 子ども:のべ40名 ボランティア:のべ50名	大人:のべ75名 子ども:のべ42名 ボラ:のべ62名	